

医務室だより 11月



今年も秋は短く、すぐそこに冬が迫ってきています。温度変化が大きく体調を崩しやすい時期です。うまく温度調整をしましょう。今回のテーマは「子宮頸がん・乳がんについて」です。大学でのヒトパピローマウイルス(HPV)集団接種は、子宮頸がんの予防のひとつです。

若い世代から
“がん”
に罹ります

子宮頸がん・乳がんについて 20歳から子宮頸がん検診が必要です

子宮頸がん罹患率

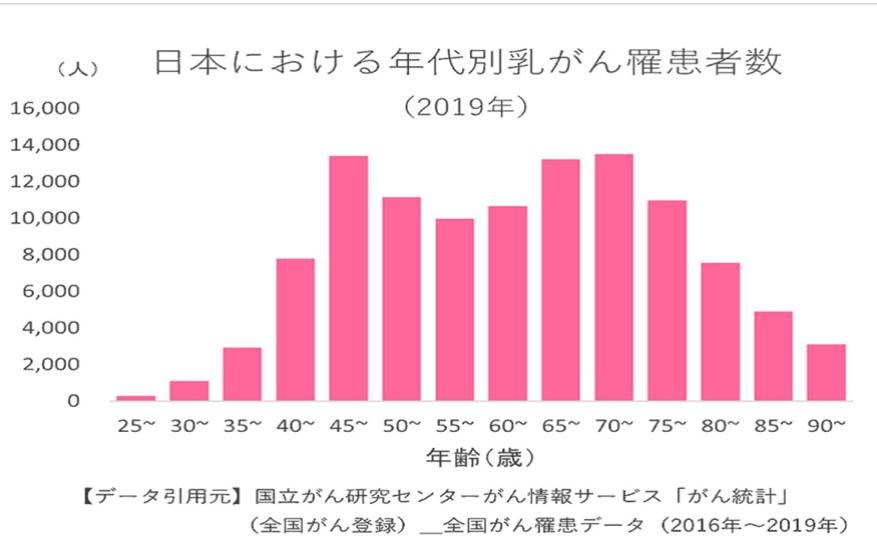


子宮頸がんにかかる女性の約15%が20~30代です。子宮頸がんの前段階の上皮内がんを含めると約38%が20~30代となっています。発症しやすい時期は妊娠・出産・子育て時期と重なり、マザーキラーと言われています。

子宮頸がんって？

- ・子宮頸がんは、子宮の入口にできるがんです。性交渉でのヒトパピローマウイルス(HPV)ウイルス感染が原因です。ヒトパピローマウイルス(HPV)は女性の子宮頸がんだけでなく男性でもかかる病気の原因になります。海外では性交渉の経験がある女性なら、84.6%の人が一度は感染するとも言われています。
- ・初期には症状がないため、自分ではがんであることに気づきません。

乳がん罹患率



乳がんって？

- 乳がんは、乳腺にできるがんで、日本人の女性の9人に1人が乳がんになると言われています。乳がんは30代後半から増加します。乳がんは早期発見・早期治療による10年後の相対生存率※は90%以上です。*
- ※相対生存率とはがんのみによる死亡を計算した生存率です。

今できる がん対策！

1 子宮・乳がん検診を受ける

がんは早期発見・早期治療で90%が治ります。定期的ながん検診を受けて早期発見に努めましょう。20歳を過ぎたら定期的子宮がん検診を受けましょう！



2 HPVワクチン接種

子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス(HPV)の感染を防ぐ予防接種です。学校でもワクチン接種実施中！



3 ブレスト・アウェアネス(乳房を意識する生活習慣)

- 〈4つのポイント〉
- ①自分の乳房の**状態**を知る
 - ②乳房の**変化**に気をつける
 - ③変化に気づいたら、**すぐ医師に相談**
 - ④定期的になんか**検診**を受診



【参考文献】 <https://ganjoho.jp/public/cancer/breast/patients.html>

東山書房 / TOPページ (higashiyama.co.jp) 子宮頸がん予防情報サイト | もっと知りたい子宮頸がん予防市民のみなさまへ | 一般社団法人日本乳癌学会 AYA世代乳がんと妊よう性